

我が国金融業の中長期的な在り方についての検討

我が国における金融業を取り巻く内外の経済社会環境の変化

- アジア等の新興国における経済成長と金融業の発展
- リーマン・ショック後の欧米金融業の相対的地位の低下
- 少子高齢化が進展する我が国における金融資産の運用の重要性の増大
- 貿易収支の縮小傾向と対外投資における資産運用の重要性の増大
- 地域金融機関を中心とした預貸率の減少傾向
- 着実な成長と海外進出を遂げる地域における中堅・中小企業も存在

検討の視点

上記のような我が国金融業（銀行、保険、証券等）を取り巻く内外の経済社会環境の変化を踏まえると、従来のような金融制度の改善という観点からだけではなく、金融業が実際に期待される役割を果たす上での課題や問題点について、関係者からのヒアリングを始めとする実態把握を通じて検証を行っていったらどうか。

1) 我が国における金融業の国際競争力の強化

- － 企業等の多様なニーズに対して我が国における金融サービスは十分に対応しているか。
- － 我が国金融業は、欧米やアジアの金融機関と比較してどのような強み・弱みがあるか。

(考えられるヒアリング先)

国際展開を図っている企業等、海外支店長経験者 等

2) 国民のニーズに合った金融サービスの提供

- － 我が国における金融業は、1,400兆円を超える家計部門の金融資産の安定運用の受け皿となっているか。
- － 少子・高齢化社会の本格的な到来を迎え、特に中高年者等に対して我が国における金融業は、どのような長期・安定的で分かりやすい金融サービスを提供することができるか。
- － また、若年層に対して将来に備えた資産形成のためにどのような金融サービスを提供することができるか。

(考えられるヒアリング先)

独立系投資運用業者、地場証券、有識者等

3) 地域経済における金融機能の向上

- － 地域の中堅・中小企業の成長過程に応じて、どのような金融機能が求められているか。長期でリスク性のある資金をどのように供給するか。
- － ファンド等、地域の資金が当該地域経済の活性化に資するような資金の流れを促す投資機会の提供等により、地域における経済活性化と金融業の振興が図れないか。

(考えられるヒアリング先)

地域の成長企業等、地域ファンド、地場証券等